

1 議 事 日 程

[平成30年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成30年2月22日

午前 11 時 10 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第23号 平成30年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第24号 平成30年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第3 議案第25号 平成30年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
日程第4 議案第26号 平成30年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第5 議案第27号 平成30年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第6 議案第28号 平成30年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第7 議案第29号 平成30年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門田直樹	議員	副委員長	藤井雅之	議員
委員	柳原荘一郎	議員	委員	宮原伸一	議員
〃	船越隆之	議員	〃	徳永洋介	議員
〃	笠利毅	議員	〃	堺剛	議員
〃	入江寿	議員	〃	木村彰人	議員
〃	陶山良尚	議員	〃	小畠真由美	議員
〃	上疆	議員	〃	原田久美子	議員
〃	神武綾	議員	〃	長谷川公成	議員
〃	村山弘行	議員	〃	橋本健	議員

3 欠席委員は次のとおりである

なし

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（20名）

市長	楠田大蔵	教育長職務代理者	野中秀典
総務部長	石田宏二	市民生活部長	友田浩
総務部理事	原口信行	都市整備部長	井浦真須己
健康福祉部長兼 福祉事務所長	濱本泰裕	観光経済部長	藤田彰
教育部長	緒方扶美	都市整備部 公営企業担当部長	今村巧児
教育部理事	江口尋信	総務課長併 選管書記長	田中縁
経営企画課長	高原清	管財課長	小柳憲次
人権政策課長兼 人権センター所長	福嶋浩	高齢者支援課長	川崎純一
国保年金課長	山浦剛志	都市計画課長	木村昌春
社会教育課長	中山和彦	上下水道課長	古賀良平

5 職務のため議事室に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会議務局長 阿部宏亮

議事課長 花田善祐

書記 力丸克弥

開会 午前11時10分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は、各会計の概要説明とし、各委員からの質疑は3月14日、15日及び16日に行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第23号 平成30年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第1、議案第23号「平成30年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（石田宏二） 議案第23号「平成30年度太宰府市一般会計予算」につきまして、お手元にお配りしておりますこちらの当初予算説明資料に沿ってご説明をさせていただきます。ご用意方よろしくお願いたします。

まず、1ページをお開きください。

ここには予算総括表と、下段に平成26年度から5年間の当初予算額の推移をグラフとして載せております。

一番上の一般会計、網かけの部分でございますが、平成30年度の一般会計予算総額は238億3,059万円となっております。前年度予算と比較いたしますと5億1,379万円の増額、率で申し上げますと2.2%の増となっております。これ以下は、特別会計及び企業会計となっておりますので、後ほど各担当部長からご説明をさせていただきます。

次に、2ページをお開きください。

2ページには歳入の款別内訳を載せております。

まず、1款市税でございますが、市税全体としましては、総額81億952万7,000円を計上しており、前年度と比較いたしますと1,720万円、0.2%の減となっております。

市税の内訳につきましては3ページに載せておりますが、法人市民税は、景気回復の兆しもあり、前年度に比べ1,080万9,000円、2.7%の増を見込んでおります。

また、軽自動車税につきましても、需要の増加から、950万7,000円、7.8%の増を見込んでおります。

一方で、固定資産税につきましては、評価がえに伴い、1,532万3,000円、0.5%の減を見込んでおります。

また、市たばこ税につきましても、禁煙社会が進む傾向から、2,000万円、5.4%の減を見込んでおります。

2ページに戻っていただきまして、6款地方消費税交付金でございます。地方消費税交付金につきましては、国で策定されます地方財政対策をもとに算定をいたしておりますが、緩やか

な景気回復の兆しもあることから、前年度と比較し5,500万円、5.0%の増を見込んでおります。

次に、10款地方交付税でございますが、地方交付税につきましても、地方財政対策を勘案いたしまして算定をいたしております。平成30年度の地方財政対策では、地方交付税全体として前年度比2.0%の減とされておりますが、平成29年度の決算見込み額をもとに算出した結果、普通交付税は前年度当初予算並みの900万円、0.3%の増で見込んでおるところでございます。

次に、14款国庫支出金でございますが、前年度から6億1,702万1,000円、14.1%の増となっております。これは、保育所入所定員の拡大とあわせ、老朽化した都府楼保育所の建てかえ費用の一部であります保育所等整備交付金が増加したことや、道路新設改良事業に伴う建物移転補償金に対する交付金が増加したこと、また障がい児通所支援給付費などの扶助費が増加したことが主な要因となっております。

次に、17款寄附金でございますが、ふるさと太宰府応援寄附金のふるさと納税につきましては、返礼品の充実を図ったことなどから、2,000万円、48.6%の増を見込んでおります。

次に、18款繰入金でございますが、改めて市長のもと、公共施設の改修事業をじっくり見きわめることといたしております。それにつきましては6月補正計上を予定している関係から、公共施設整備基金の取り崩し繰り入れが減りまして、1億6,555万円、35.4%の減となっております。なお、平成30年度につきましても、当初予算で財源不足の補填としての財政調整資金の繰り入れは行ってございません。

次に、21款市債でございますが、太宰府東中学校や太宰府中学校の大規模改造事業に伴う市債が2億5,950万円、また道路新設改良事業による市債が1億7,280万円増加いたしております。一方で、中央公民館改修事業に伴う市債が2億8,020万円、史跡地公有化に伴う市債が1億円減額となり、前年度から1,350万円、0.7%の減となっております。

また、地方交付税の財源不足を補填する臨時財政対策債につきましては、地方財政対策を勘案し、前年度より700万円増の9億3,200万円としております。

続きまして、4ページをお開きください。

4ページには、ただいまご説明を申し上げました数字を自主財源、依存財源に分けまして、その内訳を示しております。

自主財源の小計の欄でございますが、自主財源につきまして、寄附金は増となりましたが、市税、財産収入、繰入金の減などに伴い、前年度から2億3,204万9,000円の減となっております。

また、依存財源の小計の欄でございますが、この依存財源につきましては、配当割交付金、市債が減となったものの、国庫支出金、県支出金が増額となったことにより、前年度から7億4,583万9,000円の増となっております。

次に、歳出のご説明をさせていただきます。

5ページをごらんください。

5 ページには、歳出の目的別内訳を載せております。前年度比較で増減額の大きなものをご説明をいたします。

まず、総務費につきましては、国の働き方改革に伴う臨時・嘱託職員に対する賃金、手当等の増加や、ふるさと納税関連業務委託料が増加いたしました。国土館跡地の用地購入費や、市有地売り払い代金、これは旧五条保育所跡地の売り払い代金の基金への積立金などが減りまして、1億3,608万円、5.1%の減となっております。

次に、民生費につきましては、地域密着型施設等整備補助金や小規模保育施設に対する保育所等改修費等支援補助金が減となりましたが、都府楼保育所の建てかえに伴い保育所等整備交付金が増加したことや、昨年度水城第2保育園等を増園したことで、私立保育所保育費用委託料が増となったことなどから、5億4,579万2,000円、5.5%の増となっております。

次に、労働費につきましては、JR市の上踏切改良に伴うシルバー人材センターの移転工事費等の減によりまして、1億8,003万5,000円、79.3%の減となっております。

次に、土木費につきましては、水城駅・口無線道路改良工事に伴う建物移転補償費や、県道筑紫野・古賀線道路改良事業にあわせ、北谷区内に流れる水路改修工事費などの増によりまして、3億5,270万9,000円、21.7%の増となっております。

次に、消防費につきましては、消防指令システム機器や救急車等の更新に伴い、消防組合負担金が増になったことなどから、6,374万8,000円、7.6%の増となっております。

次に、教育費につきましては、太宰府東中学校や太宰府中学校の大規模改造工事が増となりましたが、史跡地購入事業費の減や、中央公民館施設改修工事が終わったことなどから、2億375万1,000円、6.2%の減となっております。

次に、公債費につきましては、平成28年度に借入れをいたしました総合体育館建設事業や、国分小学校の大規模改造事業などの償還が始まることによりまして、9,512万7,000円、3.8%の増となっております。

次に、6 ページをお願いいたします。

6 ページには、歳出の性質別内訳を載せてございます。

一番上が義務的経費となります。このうち人件費については、臨時・嘱託職員に対する賃金、手当等の増などによりまして、9,900万7,000円、3.2%の増となっております。

また、扶助費につきましては、私立保育所保育費用委託料や障がい児通所支援給付費などの増によりまして、2億7,436万4,000円、4.2%の増となっております。

次に、消費的経費でございますが、物件費につきましては、基幹業務系システム委託料や内部情報系システム機器賃借料の減などにより、2,641万5,000円、0.7%の減となっております。

次に、投資的経費でございますが、普通建設事業費につきましては、中央公民館施設改修工事費やシルバー人材センターの建設工事費、史跡地購入事業費などが減となりましたが、水城駅・口無線道路改良工事に伴う建物移転補償費や、中学校校舎等の大規模改造工事費などの増

によりまして、1億6,316万6,000円、7.2%の増となっております。

最後に、その他のところで、繰出金につきましては、国民健康保険事業特別会計繰出金及び介護保険事業特別会計繰出金などが増額となったことから、2,062万9,000円、0.9%の増、積立金については、五条保育所跡地の市有地売り払い代金の減に伴い、公共施設整備基金への積み立てが減ったことなどから、5,468万3,000円、30.0%の減となっているところでございます。

簡単でございますが、歳出については以上でございます。

なお、これ以降、7ページから12ページまでは、第五次太宰府市総合計画における目標別予算額及び目標ごとの主な事務事業について、その事業内容等を掲載をいたしておりますので、ご参照いただきますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、私のほうからの説明とさせていただきます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議案第24号 平成30年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第2、議案第24号「平成30年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（友田 浩） それでは、説明させていただきますが、説明の前に、予算書235ページにつきまして一部訂正をさせていただきましたことにつきまして、おわびを申し上げます。誠に申しわけございませんでした。

それでは、議案第24号「平成30年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

予算書につきましては、平成30年度予算書の235ページから275ページまででございます。

制度改正の概要についてご説明をさせていただきます。

国民健康保険制度につきましては、平成30年4月1日から、市町村と都道府県が共同運営を行う新制度へ移行することになります。具体的には、福岡県が国保財政の中心的な役割を担うということになり、市町村は、これまでどおり資格確認や国保税の賦課徴収、保険給付、保健事業等を行うこととなっております。これに伴い、県に国保の特別会計が創設されるほか、市町村に対して納付金制度が導入されることとなっております。

このため、市町村国保の保険給付費の財源となっていました各種交付金のほとんどが県の特別会計に入ることになるとともに、市町村は別途、被保険者からお預かりした保険税等を財源に、県の国保特別会計に対しまして納付金を納めることとなります。

一方、福岡県はこうして集めたお金をもとに、各市町村に対して医療給付のための交付金を

交付し、市町村はそれを財源に保険給付を行うこととなります。

このように、新制度移行後は、国保運営に要するお金の流れが大幅に変わりますことから、これまでの予算科目の中で廃止されるものや新設されるものが出てきておりますので、あらかじめご了承いただきたいと思っております。

新しい予算科目につきましては、地方自治法第245条の4第1項に基づき、平成29年10月30日厚生労働省保険局国民健康保険課長名で都道府県国民健康保険主管課長宛てに発出されました「国民健康保険制度の改正に伴う財務の取り扱いについて」に基づきまして見直しを行ったものでございます。

それでは、概要説明に入ります。予算書の239ページ、240ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は70億7,662万3,000円となりまして、前年度当初予算と比較いたしますと19億6,739万6,000円、率にいたしますと21.8%の減となっております。

この総括表の部分で、歳入につきましてご説明をいたします。

1款国民健康保険税につきましては、科目変更はございません。平成30年度からの納付金制度導入に伴う激変緩和措置が受けられることや被保険者数の減少などから、前年度比1億1,502万3,000円、率にいたしますと7.4%減の14億2,954万1,000円を計上いたしております。

次に、2款ですが、これまでは国庫支出金でございましたが、新制度への移行に伴い、国庫支出金は全て一旦、県に入ることになっており、県はこのうち市町村に配分されるものを、従来の県支出金と合わせまして市町村に交付するものでございまして、これまで5款であった県支出金が繰り上がり2款となります。平成30年度は50億749万円を計上いたしております。この中には、本市国保の保険給付の財源となります普通交付金48億2,172万2,000円が含まれております。

次に、3款財産収入ですが、これまでの7款より繰り上がります。

次に、4款繰入金ですが、これまでの8款より繰り上がります。来年度からは、これまでの一般会計からの法定繰入金とは別に、市の単独事業であります子ども医療を初めとする公費医療に対する交付金の減額調整分を一般会計から繰り入れることとなるなど、前年度比1,671万2,000円、率にして2.7%増の6億2,488万4,000円を計上いたしております。

次に、5款繰越金ですが、これまでの9款より繰り上がります。

6款諸収入ですが、これまでの10款より繰り上がります。

次に、7款市債ですが、新たに設定された科目でございまして、財政安定化基金貸付金の項目を設け、同基金からの貸し付けを受ける場合にはこちらに計上することとなります。

なお、この総括表の下の部分にございます国庫支出金、療養給付費交付金、前期高齢者交付金につきましては、今回の制度改革によりまして、全て県に入ることになっておりますし、共同事業交付金につきましては、交付金の対象となる共同事業自体が廃止となりましたことから廃款となっておりますので、これが予算減の大きな要因でございまして、

続きまして、240ページをお願いいたします。

歳出の主なものについてご説明をいたします。

歳出の約7割を占めます2款保険給付費につきましては、被保険者数の減等を勘案し、前年度比4億8,285万5,000円、率にいたしますと9.0%減の48億8,268万6,000円を計上いたしております。

次に、3款国民健康保険事業費納付金についてですが、この款は、4月からの制度改革に伴い新設されたものでございまして、冒頭申し上げました県への納付金でございます。県では、市町村から集めたこの納付金と国等からの交付金のほとんどを一元的に管理しまして、市町村の保険給付費の財源となる普通交付金として各市町村に交付することとなります。平成30年度は19億5,678万2,000円を計上しております。

次に、4款共同事業拠出金につきましては、共同事業のほとんどが今回の制度改正で廃止されますことから、歳入と同様、ほぼ全額を減額をしております。

次に、5款財政安定化基金拠出金につきましては、新設されたものでございまして、同基金への積み増し等が必要となった場合に計上するものでございます。

このほか、この総括表の下のほうにあります後期高齢者支援金等、前期高齢者納付金等、介護納付金につきましては、新制度移行により導入される納付金制度の中に組み込まれますことから、廃款となります。

また、老人保健拠出金につきましては、既に保険制度は廃止されておまして、これまで精算業務として計上していたものでございますが、こちらも平成30年度からはこの業務が後期高齢者医療連合のほうに移りますことから、廃款となります。

繰り返しになりますが、国民健康保険事業は、平成30年度から都道府県と市町村の共同運営となりますことから、福岡県、県内他市町村と連携しながら、新制度へのスムーズな移行を図りますとともに、引き続き適正な国民健康保険事業の運営に努めてまいります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 議案第25号 平成30年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第3、議案第25号「平成30年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（友田 浩） それでは、議案第25号「平成30年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

予算書につきましては、平成30年度予算書の277ページから291ページでございます。

まず、予算書の280、281ページの歳入歳出予算事項別明細書をお願いいたします。

歳入歳出予算総額は12億5万5,000円となりまして、前年度当初予算と比較いたしますと

2,900万円、率にいたしますと2.5%の増となっております。

まず、歳入の主なものについてご説明をいたします。

1 款保険料につきましては、前年度比1,885万円、率にしまして2.0%増の9億8,547万円を計上しております。

3 款繰入金につきましては、当該特別会計の事務費、広域連合の事務費負担金及び被保険者に適用されます保険料軽減額を保険基盤安定制度繰入金として一般会計から繰り入れるものでございまして、前年度比1,015万円、率にして5.0%増の2億1,457万7,000円を計上しております。

次に、同じページの下段の歳出の主なものについてご説明をいたします。

歳出のほとんどを占めます1 款総務費につきましては、後期高齢者医療広域連合負担金の増額などによりまして、前年度比2,895万円、率にして2.5%増の11億9,595万5,000円を計上しております。

説明は簡単でございますが以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 議案第26号 平成30年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第4、議案第26号「平成30年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱本泰裕） 議案第26号「平成30年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書の293ページをお願いいたします。

初めに、保険事業勘定の歳入歳出予算総額は50億1,027万4,000円で、前年度当初予算と比較しますと1億5,100万7,000円、率にいたしますと3.1%の増となっております。また、介護サービス事業勘定の歳入歳出予算総額は5,214万1,000円で、前年度当初予算と比較いたしますと2,290万5,000円、率にいたしますと78.3%の増となっております。

次に、301ページをお願いいたします。

まず、保険事業勘定の予算でございます。

歳入の主なものについてご説明申し上げます。

1 款の保険料につきましては、65歳以上の第1号被保険者保険料でございますが、被保険者数の増加見込みによりまして、前年度比4,199万円、率にいたしますと3.7%増の11億6,856万8,000円を計上しております。

次に、3 款国庫支出金でございますが、前年度比4,001万1,000円、率にいたしますと4.1%

増の10億1,902万6,000円を計上しております。

次に、4款支払基金交付金につきましては、40歳から64歳までの第2号被保険者保険料からの介護給付費交付金が主なものでございまして、前年度比3,587万円、率にいたしますと2.8%増の13億2,814万2,000円を計上しております。

次に、7款繰入金につきましては、前年度比1,327万6,000円、率にいたしますと1.7%増の7億7,979万7,000円を計上しております。

次に、歳出の主なものについてご説明申し上げます。

302ページをお願いいたします。

1款総務費には、職員給与費及び介護保険制度改正に伴う電算システム改修費など1億6,476万2,000円を計上しております。

次に、2款保険給付費は、歳出全体の約91%を占めており、前年度比1億2,807万7,000円、率にいたしますと2.9%増の45億5,454万6,000円を計上しております。この増額の主な要因といたしましては、要介護認定者数の増加と、平成30年8月に開設予定の広域型特別養護老人ホームの施設利用増等を勘案したことによるものでございます。

次に、3款地域支援事業費は、前年度比1,420万4,000円、率といたしまして5.3%増の2億8,426万5,000円を計上しております。この増額の主な要因といたしましては、地域包括ケアシステム構築のための事業としての在宅医療・介護連携推進事業を筑紫医師会に委託する費用、及び一般会計に計上しておりました緊急通報システム委託料を、補助対象となる地域支援事業に組み替えたことなどによるものでございます。

続きまして、343ページをお願いいたします。

介護サービス事業勘定の予算でございます。

歳入の主なものとしまして、1款サービス収入につきましては、ケアプラン作成に対する福岡県国民健康保険団体連合会からの介護予防サービス計画費収入といたしまして、前年度比1,740万6,000円、率にいたしますと107.2%増の3,364万円を計上しております。この増額の要因としましては、歳出において、総合事業のケアプランを作成するケアマネージャーの人件費を、保険事業勘定の地域支援事業費からサービス事業勘定に組み替えたことに伴い、その財源として、前年度は総合事業以外のケアプラン作成料のみを計上していたものを、平成30年度は総合事業のケアプラン作成料についても予算計上したことによるものでございます。

次に、2款繰入金400万円につきましては、歳出に対する歳入の不足分を保険事業勘定で補うためのものでございます。

次に344ページをお願いいたします。

歳出では、1款総務費にケアマネージャーの嘱託職員賃金といたしまして、前年度比2,495万円、率にいたしますと93.5%増の5,164万円を計上しております。この増額の主な要因としましては、先ほど申し上げましたとおり、保険事業勘定の地域支援事業費に計上しておりました総合事業のケアプラン作成のためのケアマネージャーの人件費を、サービス事業勘定に

組み替えたものによることでございます。

以上が平成30年度介護保険事業特別会計予算の主な内容でございます。

今後も介護保険制度の利用者の自立支援はもとより、給付費の適正化に努め、介護保険事業の円滑な運営に努めてまいります。

説明は以上です。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第27号 平成30年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第5、議案第27号「平成30年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（友田 浩） 続きまして、議案第27号「平成30年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

予算書につきましては、予算書の351ページから362ページでございます。

まず、予算書の354ページ、355ページをお願いいたします。

平成30年度歳入歳出予算総額は、歳入歳出それぞれ53万4,000円となっております。前年度と比較いたしまして3.7%増、金額では1万9,000円の増額となっております。予算総額が増額となりました主な要因は、3款基金積立金の増に伴うものでございます。

次に、予算書362ページをお願いいたします。

公債償還の現在高につきましては、平成28年度末で27万4,000円、平成29年度末で14万円、平成30年度では14万円を元金償還見込みといたしておりますので、平成30年度末で0円となる見込みでございます。

なお、市長提案理由でも申し上げましたが、貸付金の償還向上につきましては、今後も個別の現状把握に努め、精力的に家庭訪問を行うなど、償還の促進と県との連絡調整や契約弁護士と相談を行いながら、滞納者対策を図ってまいります。

簡単でございますが、説明は以上でございます。

よろしく審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議案第28号 平成30年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第6、議案第28号「平成30年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部公営企業担当部長。

○都市整備部公営企業担当部長（今村巧児） 水道事業会計の予算概要についてご説明申し上げます。

水道事業の予算書は、水色の表紙になります。

まず、1ページをお願いいたします。

平成30年度におきましては、給水戸数2万5,588戸、年間総給水量578万3,060m<sup>3</sup>、1日平均給水量1万5,844m<sup>3</sup>を予定しております。

第3条の収益的収入及び支出におきましては、収入を14億4,511万1,000円、支出を12億8,450万円としております。

第4条の資本的収入及び支出におきましては、収入を3,845万2,000円、支出を7億3,246万5,000円としております。

次に、具体的な収支事項をご説明いたします。

4ページをお願いいたします。

1款1項1目の給水収益につきましては、有収水量の伸びなどを考慮し、前年度に比べ1.9%増の12億1,799万4,000円を、2項2目の加入負担金につきましては、前年度実績を勘案し、4,438万7,000円を予定しております。

次に3目の長期前受金戻入については、今年度は前年度と同額程度の1億5,799万7,000円を計上しております。

次に、5ページをお願いいたします。

1款1項1目の原水及び浄水費につきましては、6億8,025万8,000円としております。これは、大山ダム受水費の減免が平成29年度をもって終了しましたことが主な増要因となっております。

2目の配水及び給水費の増につきましては、委託料の増などが主な要因となっております。

6ページをお願いいたします。

3目業務費につきましては、納付書等の送付数の増加などで若干の増としております。

8ページをお願いいたします。

5目の減価償却費につきましては、前年度並みの3億7,724万9,000円としております。

次に、2項1目の支払利息及び企業債取扱諸費が231万1,000円減少しております。これは、企業債支払い利息がピークを過ぎたことによるもので、元利ともに今後も減少をしていく見通しであります。

次に、9ページの資本的収入でございますが、1款1項1目の国庫補助金については、平成29年度に引き続き、五条から梅香苑、太宰府南小学校間の緊急時用の配水管新設のため、生活基盤施設耐震化等交付金を計上しております。

2項1目の工事負担金につきましては、消火栓新設工事負担金などを計上しております。

次に10ページをお願いいたします。

資本的支出の1款1項3目、配水施設費につきまして、先ほど資本的収入でご説明をいたしました五条・太宰府南小学校間の管路の新設や梅香苑地区の配水管布設がえに継続して取り組むほか、11ページ、3項の投資におきまして、平成29年度と同様に有価証券の購入を予定しております。

以下、12ページ以降につきましては財務諸表等を添付いたしております。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 議案第29号 平成30年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第7、議案第29号「平成30年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部公営企業担当部長。

○都市整備部公営企業担当部長（今村巧児） 下水道事業会計の予算概要についてご説明申し上げます。

下水道事業の予算書は、黄色の表紙になります。

1ページをお願いいたします。

第2条に業務の予定量を記載しております。平成30年度におきましては、排水戸数3万89戸、年間総排水量766万5,000m³、1日平均排水量2万1000m³を予定しております。

第3条の収益的収入及び支出におきましては、収入を18億7,885万6,000円、支出を14億3,351万2,000円としております。

第4条の資本的収入及び支出におきましては、収入を4億3,335万9,000円、支出を13億6,332万4,000円としております。

次に、具体的な収支事項をご説明します。

4ページをお願いいたします。

1款1項1目の下水道使用料につきましては、前年度並みの11億8,871万3,000円としております。

2目の他会計負担金につきましては、国の繰り出し基準に基づく一般会計からの繰入金であります。

次に、2項3目の長期前受金戻入につきましては、2億7,222万円を計上いたしております。

5ページをお願いいたします。

収益的支出につきまして、下水道事業費用は前年度に比べ4,543万7,000円の減としておりま

す。1項2目の流域下水道維持管理費については、御笠川那珂川流域下水道維持管理負担金単価の改定によりまして2,731万1,000円の減、3目業務費は徴収事務委託料の増などで283万6,000円の増を予定をしております。

6ページをお願いいたします。

5目減価償却費につきましては、前年度並みの7億366万3,000円としております。

次に、7ページ、2項1目の支払利息及び企業債取扱諸費は、平成29年度と比較して2,158万6,000円の減となっており、元利ともに今後も減少をしていく見通しであります。

8ページをお願いいたします。

資本的収入でございますが、総額は4億3,335万9,000円となり、前年度に比べ5,557万4,000円の増としております。これは、建設改良に伴う企業債や国庫補助金の増が主な要因となっております。

次に、9ページ、資本的支出、1目の公共下水道整備費につきましては、湯ノ谷西区の奥園雨水管きよの整備完了に向け引き続き取り組むほか、大佐野台地区の下水道管の長寿命化などを進めてまいります。

また、10ページ、3項の投資におきまして、水道事業と同様に有価証券の購入を予定しております。

以下、11ページ以降に財務諸表等を添付いたしております。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

以上をもちまして各会計の概要説明は終わりました。

今回は、3月14日水曜日午前10時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） これをもちまして本日の予算特別委員会を散会します。

散会 午前11時50分

~~~~~ ○ ~~~~~